



ミジンコは何を食べるの

ミジンコは2～3ミリメートルのしょうどうぶつ小動物

ミジンコは、体からだの大きさが2～3ミリメートルの、動物どうぶつプランクトンとよばれる生き物いものです。池やぬまの水中すいちゅうでくらしていますが、小さすぎて、顕微鏡けんびきょうで観察かんさつしないと、ふつうはいることに気がつかないでしょう。ミジンコのいる池やぬまの水は、青、緑、茶色などが混じったにごった色いろをしていることが多いはずおおです。このにごりが、ミジンコのえさなのです。

ミジンコのえさは植物しょくぶつプランクトン

顕微鏡けんびきょうで、ミジンコのいる池やぬまの水みずを観察かんさつすると、動き回るミジンコといっしょに、緑のつぶが入った、さまざまな形かたちのすき通ったものが、見られるはずおおです。これが、ミジンコのえさになる、植物しょくぶつプランクトンとよばれるものです。植物しょくぶつプランクトンは、水の中みずなかにただよいながら、木の葉や草と同じように、体内の葉緑素たいないのようりょくそ（緑色のつぶ）で、太陽の光たいようひかりと水中の養分ようぶん、二酸化炭素にさんかたんそから、でんぷんなどの栄養分えいようぶんを作っています。ミジンコは、自分の体からだよりずうっと小さい、この植物しょくぶつプランクトンを食べて生きています。

水中すいちゅうの生き物いものによる、食べ物たもののつながり

ミジンコは植物しょくぶつプランクトンを食べ、小さい魚さかなはミジンコのような動物どうぶつプランクトンをえさにし、その小さい魚ちいさかなを、大きい魚おおさかながえさにする、といったぐあいで、池やぬまの中に、食べるもの、食べられるものの、つながりができています。（監修・安部 義孝）

